

前向きに目指せ！ 世界へ

マルサンアイ株式会社
代表取締役社長

伊藤 明德 氏



教育随想



平成27年3月1日

3月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
マルサンアイ株式会社 代表取締役社長 伊藤 明德氏	
この人に聞く	2
花芸安達流専任教授 元岡崎華道連盟理事 伊藤 富 氏	
羅 針 盤	2
英語科指導員 都筑 香理	
ふれあい	3
男川小 増崎亜沙美	
特 集	4
1年のあゆみ	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
六三制 (昭和22年)	
この本を	8

私共の会社は、昭和二十七年創業
でみその製造販売を始めました。味噌
の業界では歴史が浅く、新参者であっ
たため、次々と新しい味噌や食品の
開発を手掛け、現在では豆乳・飲料
まで事業を広げています。

日本では二〇一〇年頃に人口がピー
クを迎え、少子高齢化により、二〇
四五年頃には人口が一億人を切って
しまうと予測されています。食品会社
にとり人口の減少は、お客様の数が
減ってしまうことであるため、当社
では海外の開拓を精力的に進めてい
ます。そうした中、私は仕事の関係
で米国や中国、東南アジアの方々と
接する機会が数多くあり、それぞれ
の国の勢いや国民性の違いを、強く
感じています。

米国の人は、身体が大きくエネル

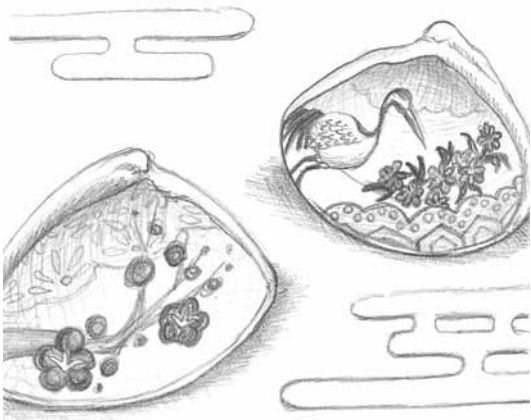
ギツシユな行動力とユーモアがあ
り、中国の人は強い向上心や過剰な
までの自信をもつのに比べて、日本
人が昔の勤勉さと貪欲さを失い、と
もすると内向きになってきていること
に危惧さえ覚えることがあります。

日本は資源小国であり、食料や燃料
も米を除き大半は輸入に頼っていま
す。海外との貿易をしなければ日本
は生きていけません。日本国内はと
ても平和で、比較的給料も高く、豊か
で食べるのに困ることはありません。
しかし、それで満足しては、海外
に後れを取り、いざれ行き詰ること
になります。

昨年、青色LEDで三人の日本人
がノーベル賞を受賞しました。日本
人には勤勉な国民性があり、世界で
成功している人もたくさんいます

し、企業も数多くあります。是非と
も、若い世代の人たちが、内向きな
考え方ではなく前向きに世界に挑む
ことのできる人間を目指してもらい
たいと思っています。

(いとう あきのり)





花の道で人とつながる

花芸安達流専任教授
元岡崎華道連盟理事

伊藤 富 氏

一月、岡崎市小中学校書き初め展とともに、家康公四百年祭記念書写作品コンクールの入選作品が、市美術館で展示された。真っ白な壁に貼られた数点の作品が、何とも言えない緊張感を漂わせている。それがふと和らいだのは、片隅に生けられた花を見た瞬間だった。それは、この書き初め展に、長く携わってきた伊藤さんが生けた花だった。

「私の実家はお寺で、祖母は、池坊のお花を教えていました。小さいころから身近にお花があるのが当たり前でした。私自身は、花嫁修業の一環として、母がたしなんでいた花芸安達流の師匠に習いました。その師匠の御縁で新城から嫁いできました。花の道は、かれこれ五十四年になります。」

花芸安達流は、七十二のテーマが



あり、図解テキストによって誰でも気軽に花を生けられる。

「嫁ぎ先の義母も、お花の先生でした。でも、同じテーマで生けても自分とは違うのだと気付いて、面白いと思ったことを覚えています。」

子育ての間、義母の手伝いや研究会へ参加することはあっても、表立って活動することはなかった。しかし、子育てが一段落したころ、岡崎市小中学校書き初め展へ出瓶の声がかかる。

「義母のお弟子さんに、学校事務の方がいて、書き初め展でお花を生けてほしいと話がありました。お花を添えることで、子供たちが一生懸命に書いた作品を生かし、家族と一緒に、お花を見る機会になるといいと思いました。決して出しゃばらず、作品を引き立たせるように心がけました。」

四十代になり、自分が信じる花の道の良さや自然の命のすばらしさを、広く伝えたいという気持ちで、伊藤さんの背中を押した。

「お声をかけてもらえれば、どこでもお花を生けに行きました。お花があるとはっとするでしょう。花材の特徴や生命力を生かして、自然の良さを表現してきました。お花は切つて

しまうことになりませんが、生けた花を『いいな、美しいな』と感じていただけたなら、自然を大切にしていることにつながると思うのです。」

伊藤さんの書き初め展への出瓶は、平成元年以来今年で二十七回目となる。花を生けるだけでなく、常に花の状態を確かめ、水差しも管理してきた。

「お花にも命があります。水を差さなければ、しおれてしまいます。常に、自然の命に関わっているのです。」

伊藤さんの人生は、ずっと花と関わり、花に導かれてきた。

「『お花』という一つのことを突き詰めていったおかげで、たくさんの方々と関わり合うことができ、本当に感謝しています。書き初め展に携われたことも、幸せなことでした。年を取っても人の輪が広がり、人とつながりをもてるのが、私の宝です。」

今もなお、人と出会い、ふれあうことが勉強になると言う。自分の信じる道を貫き通した凛とした強さや優しさが、伊藤さんの生ける花に表れている。



氏名 伊藤 ともと
生年月日 昭和十九年十一月十五日
住所 岡崎市八幡町

羅針盤

コミュニケーション力を
育成する授業

英語科指導員
都筑 香理

ESDの視点で、外国語の授業を考える時、「コミュニケーション力」を軸にして、学習指導案を立てる。

コミュニケーションとは、単なる情報伝達ができればいいのではなく、心の通い合いや意思の疎通ができて、初めて「コミュニケーションが成立した」と言える。

A先生とのチームティーチングの授業では、「can」を取り上げて、子供に慣れ親しませることにした。導入部分でけん玉を使って、二人でデモンストレーションを見せた。

「Can you play kendama?」の質問に対して、私が実演しながら「No I can't」と答える。その後でA先生が子供たちに向かって「Can you play kendama?」と問いかけた。すると、子供たちが口々に「B君。できるよね」と答え、場面かん黙のB君に、みんなの視線が集中した。

「B君、Can you play kendama?」B君は、こっくりとうなずき、先生に促されて、みんなの前でけん玉を



聴いて 私の話

男川小 増崎亜沙美

「どうして手を挙げないの。」
「だって、間違っているかもしれないし、私は説明がうまくないから、手が挙げられない。」

昨年四月に三年生を担任した私は、A子の言葉にはっとした。活発で、学習意欲の高いA子は、授業で活躍したいと思っている。しかし、話すことには苦手意識をもち、恥をかくのは嫌だと感じているのだ。

そこで、友達の前で話をする事に慣れる練習として、「元氣調べ」に力を入れることにした。「元氣調べ」とは、毎朝行う健康観察の返事に、最近の出来事について、一言添える活動である。

「はい、元氣です。昨日、わたしはゲームをしました。それから外に出て、なわとびをしました。疲れたので、宿題をやりました。」

初めのころのA子は、時間の流れに沿って、長い話をするだけだった。聴き手の関心を引くことができず、

もどかしい表情を見せた。そこで、「ゲームとなわとびと宿題の三つのことについて話したよね。その中のなわとびのを中心に話してみようか。何跳びを練習したの。」

と、話が具体的になるようにヒントを出し、もう一度その場で話すように勧めた。

「わたしは、昨日、なわとびをしました。前跳びを百回跳ぶことを目標にして練習しました。でも、八十九回で縄に引っかかってしまったので、とても悔しかったです。今日も練習する予定です。必ず目標を達成したいです。」

と、一つの内容を膨らませて話すことができた。こつをつかんだA子は、とてもすっきりとした顔になった。

二学期には、聴き手の反応を見ながら話ができるように「問いかけ」から話し始めるルールを設けた。

そんなある日、A子が私に、「先生、昨日サッカーの試合を見ましたか。今日は、サッカーのことを話すつもりです。」

と、わくわくした様子で話しかけてきた。積極的に話したい、みんなに伝えたいというA子の思いが、手に取るようにわかった。

「みなさん、昨日のブラジル対日本のサッカーの試合を見ましたか。」

A子は、聴き手の反応を確かめながら、生き生きと話し出した。

さらに、友達からサッカーの試合結果について質問されると、

「わたしは、途中で寝てしまったので、結果はわからないのですが、誰か知っている人はいますか。」

と、戸惑うことなく、教室を見回して自然に友達に助けを求めている。その姿は、以前の不安そうなA子と違い、自信に満ちあふれていた。

A子は、自分の考えや思いを相手に伝える面白さや、意見交換をして関わり合い、考えを深めていくことの楽しさを感じている。

A子と同じように、相手に伝える方法を身に付けたクラスの子供たちは、授業でも活発に語り始めた。

そして今、私は、子供たちがどんな話をするのか、毎日楽しみに聴いている。



披露した。

「Oh, you can play kendama!」

という先生の称賛の声に、子供たちの中から大きな拍手がおこった。

授業で、コミュニケーション力を育成するためには、「自分のことを友達に知ってもらえた」「友達のことを知ることができた」「もっと、友達のことを知りたい」という、子供の心を動かすような仕掛けが必要である。

「英語は、専門教科ではないので、不安です」という声を聞くことがあつた。しかし、発音や英語の感覚を伝えることはALTやSTが担うので、担任は別の役割を果たしてほしい。つまり、子供たちの実態を捉えて、子供に寄り添った授業展開を考え、一人一人に合わせて、支援や称賛をする。A先生は、英語が専門ではないが、子供に寄り添う強い情熱をもっている。当日の授業では、率先して大きな声、笑顔、ジェスチャー、そしてAll Englishで活動を進めた。授業のさまざまな場面で子供の良い面を見つけて称賛し、つまずく子供を支援した。担任の一つ一つの活動が、子供への刺激になることが見て取れた。

後日A先生からメールが届いた。

「もう一度、All Englishで授業をしました。子供たちの反応があまりによかったので、嬉しくなっていました。」

A先生の授業にかける情熱が、子供のコミュニケーション力を育てていると確信した。

月報「岡崎の教育」500号発行



▲NHK全国学校音楽コンクール全国コンクール 優良賞 (根石小合唱部)



▲アジアユースバレーボール女子選手権大会 優勝 全日本代表(南中・中川美袖) 全国中学校日韓交流戦にも出場

1年のあゆみ

7・30	7・28	7・25	7・24	7・22	7・21	7・12	7・11	6・22	6・21	6・15	5・27	5・20	5・18	4・20	4・18	4・17
平成26年度授業力・教師力アップセミナー(58・7)	岡崎小学校水泳大会(井田小・三島小) 第68回愛知県中学校総合体育大会(8・1)	第49回交通安全子ども自転車愛知県大会 JOCジュニアオリンピックカップ全国中学生カヌー大会(27)	男子カヤック四人乗り 男子カヤック二人乗り 男子カナディアン二人乗り 女子カヤック二人乗り 女子カヤック一人乗り 女子カヤック四人乗り	愛知県選抜水泳大会 第67回岡崎市中学校市長杯総合体育大会(21) 第21回愛知県中学校カヌー大会 男子カヤック一人乗り 男子カヤック二人乗り 男子カヤック四人乗り 女子カヤック一人乗り 女子カヤック二人乗り 女子カヤック四人乗り	愛知県中学校選抜水泳大会 第60回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会 男子八〇〇M 女子一〇〇M	愛知県混成競技会 第67回岡崎市中学校市長杯総合体育大会(21) 陸上競技 四種競技	愛知県選抜水泳大会 第67回岡崎市中学校市長杯総合体育大会(21) 陸上競技 四種競技	市制記念日 ニューポートビーチ市使節団来岡(7・7) 第11回愛知レディス陸上競技大会 第31回NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会	東海女子ユースサッカー選手権U-15大会 学校花壇設計図の部 東山動物園賞 泉知事賞	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部
優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝
北中3	安井2	矢作中3	矢作中3	矢作中3	矢作中3	矢作中3	矢作中3	矢作中3	矢作中3	矢作中3	矢作中3	矢作中3	矢作中3	矢作中3	矢作中3	矢作中3
・近本太郎	・山本3	・菅田慎悟	・長谷部航	・長谷部航	・長谷部航	・長谷部航	・長谷部航	・長谷部航	・長谷部航	・長谷部航	・長谷部航	・長谷部航	・長谷部航	・長谷部航	・長谷部航	・長谷部航
※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場

9・12	9・7	9・6	9・2	8・30	8・29	8・26	8・23	8・22	8・21	8・21	8・20	8・19	8・17	8・6	8・6	8・5	8・5	8・5	8・2	8・2	8・1	8・1	7・31	
全国自作視聴覚教材コンクール	岡崎市教育研究大会(市内各会場) 第81回NHK全国学校音楽コンクール 第2回近代三種日本選手権大会in千葉 兼 第9回ジュニアオリンピックカップ	岡崎市教育研究大会(市内各会場) 第81回NHK全国学校音楽コンクール 第2回近代三種日本選手権大会in千葉 兼 第9回ジュニアオリンピックカップ	岡崎市教育研究大会(市内各会場) 第81回NHK全国学校音楽コンクール 第2回近代三種日本選手権大会in千葉 兼 第9回ジュニアオリンピックカップ	岡崎市教職員厚生活動「小中学校教職員体育大会(中央総合会場)」	JOC第28回全国都道府県対抗中学バレーボール大会愛知県代表選手最終選考会	岡崎小学校水泳大会(井田小・三島小) 第68回愛知県中学校総合体育大会(8・1)	第49回交通安全子ども自転車愛知県大会 JOCジュニアオリンピックカップ全国中学生カヌー大会(27)	男子カヤック四人乗り 男子カヤック二人乗り 男子カナディアン二人乗り 女子カヤック二人乗り 女子カヤック一人乗り 女子カヤック四人乗り	愛知県選抜水泳大会 第67回岡崎市中学校市長杯総合体育大会(21) 第21回愛知県中学校カヌー大会 男子カヤック一人乗り 男子カヤック二人乗り 男子カヤック四人乗り 女子カヤック一人乗り 女子カヤック二人乗り 女子カヤック四人乗り	愛知県中学校選抜水泳大会 第60回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会 男子八〇〇M 女子一〇〇M	愛知県混成競技会 第67回岡崎市中学校市長杯総合体育大会(21) 陸上競技 四種競技	愛知県選抜水泳大会 第67回岡崎市中学校市長杯総合体育大会(21) 陸上競技 四種競技	愛知県選抜水泳大会 第67回岡崎市中学校市長杯総合体育大会(21) 陸上競技 四種競技	市制記念日 ニューポートビーチ市使節団来岡(7・7) 第11回愛知レディス陸上競技大会 第31回NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会	東海女子ユースサッカー選手権U-15大会 学校花壇設計図の部 東山動物園賞 泉知事賞	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	第58回岡崎市中学校総合体育大会(25) 水泳(6・8) 平成26年度都市景観大賞(全国) 景観教育・普及啓発部門 第28回愛知県小学生相撲選手権大会 五年生の部 フラワー・プラボー・コンクール春花壇(県) 二年生の部	
優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝
最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞
最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞
※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場	※全国大会出場



▲全国中学校体育大会
バスケットボール男子 ベスト8 (北中学校)



▲第22回全国中学校駅伝大会
男子四区 2位 (矢作中駅伝部)



▲ESD大賞 小学校賞
特別賞 ネスレ日本ヘルシーキッズ賞 (男川小学校)

Table with 13 columns containing dates, event names, categories, winners, and locations. Includes events like '全国中学校体育大会', '第22回全国中学校駅伝大会', and 'ESD大賞 小学校賞'.



●表彰

◆2015日本ジュニア室内陸上競技大阪大会

中学生の部女子800m

二位 常磐中三年 宇野 佑紀

中学生の部女子60m

三位 六美北中三年 山本 里菜

◆平成26年度愛知県小学生バレーボール新人大会

男子 三位 矢作北小学校

◆第38回全三河中学高校東西対抗バレーボール大会

男子 優勝 北中学校

◆第15回全国中学生創造ものづくり教育フェア

○創造アイデアロボットコンテスト

優秀賞 常磐中三年 蟹 直貴

優秀賞 常磐中三年 下川浩希

優秀賞 常磐中三年 加藤太一

優秀賞 常磐中三年 若松昂平

○パソコン入力コンクール

優秀賞 福岡中二年 江端洗貴

優秀賞 福岡中二年 山本泰希

優秀賞 福岡中三年 尾辻廣弥

○生徒作品コンクール

全国農業高等学校長協会賞

常磐中二年 安元さや香

◆第26回読書感想画

○中央コンクール

優良賞 連尺小五年 川合未来

○愛知県コンクール

優秀賞 連尺小五年 川合未来

優秀賞 羽根小一年 吉原いちか

◆全国こども科学映像祭

優秀作品賞

大樹寺小六年 内田 桜綾

◆第8回アートクラブグランプリ in SAKAI (全国中学校美術部作品展)

入選 北中三年 岡部 りお

◆東海・北陸 第13回創造アイデアロボットコンテスト

優勝 常磐中学校三年

蟹 直貴・加藤 太一

五位 常磐中学校三年

梅村 友翔・若松 昂平

◆愛知県アンサンブルコンテスト

○小学校

金賞 竜美丘小

金賞 竜美丘小

金賞 大樹寺小

大樹寺小 打楽器三重奏

金賞 大樹寺小 金管八重奏

銀賞 竜美丘小 打楽器四重奏

銀賞 竜美丘小 フルート三重奏

銀賞 竜美丘小 サクソフォン四重奏

銀賞 大樹寺小 金管八重奏

銀賞 竜美丘小 金管八重奏

○中学校

南中 管弦八重奏

金賞 美川中 金管八重奏

銀賞 六ツ美北中 打楽器五重奏

銀賞 竜海中 打楽器八重奏

北中

クラリネット四重奏

サクソフォン四重奏

金管八重奏

◆第66回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール

徒作品コンクール ポスターの部

佳作 連尺小六年 金原 香音

佳作 美合小四年 手島 翼玖

佳作 大樹寺小四年 今井 稜大

◆第42回人権を理解する作品コンクール

最優秀賞 常磐小四年 松本和花

優秀賞 豊富小 大橋喜代美

標語の部

第23回上廣道徳教育賞

優秀賞 豊富小 大橋喜代美

●少年自然の家だより

登ったよ

優秀賞 豊富小 藤村奈央子
優秀賞 河合中 伴 巨裕
◆第5回防災コンテスト
優秀賞 常磐東小

お社裏の急坂を登りきった所で、「最後までよくがんばったね」と、担任の先生が声を掛ける。次々と登ってくる子

たちは、「もう疲れたよ」と言っているものの、まだまだバ

ワーが残っている。頂上に着いた順で先生に写真を撮

ってもらっている子供たちの姿はとて素敵だ。ご褒美に

もらった飴をなめ、わいわい言いながら三河富士から見

る澄んだ景色を楽しんでいた。富士山が世界文化遺産に登

録され富士登山が大人気となっ

ているが、少年自然の家のハイキングコースの一つに、地元

の人から「三河富士」と呼ばれ親しまれている浅間神社が祀

られている山があります。秋の訪れを感じられるよう

になった九月、小学生がこの三河富士登山に挑戦した。友

と声を掛け合い、自然を体で感じながら歩いたことで、普

段の学校生活ではめったに体験できない何かを得られたに

違いない。学校から少年自然の家までハイキングをしながら

ら来る中学校はあるが、小学校でも所内だけの活動にしないで、元氣よく所外に出たことは有意義だった。

少年自然の家には、この三河富士登山コース以外にも、

天岩戸伝説の大岩がある正蔵寺や岡崎のふるさとの名木

(トウゴクヒメシヤラ)のある素戔鳴神社を訪ねる歴史コ

ース、百年近く前に古部地区から秦梨小学校への通学路だ

った黍生の旧里を巡る生活の道チャレンジコースなど、所

外のハイキングコースも充実している。

来年度からは中学校の利用が希望制となるが、是非とも

どの子にも感動が一杯生まれよう自然にたつぷりと浸

る挑戦的な活動プログラムを計画してほしいものである。



平成26年度教育研究論文入賞者

●個人研究の部

最優秀賞

Table with 4 columns: 氏名, 学校名, 教科領域, 研究主題. Entry for 市川 翔子, 竜海中, 国語, 仲間と多様な読みを楽しみながら、作品の魅力を自分の言葉で表現する生徒の育成

＜論文入賞者数＞

Summary table of award counts by school level (小学校, 中学校) and award type (賞, 最優秀, 優秀, 佳作, 合計/応募数).

優秀賞

Large table listing 48 award winners with columns for name, school, subject, and research topic.

佳作

Large table listing 48 award winners with columns for name, school, subject, and research topic.

●共同研究の部

最優秀賞

Table for the best award in the joint research section: 現職研究部 代表 原田 真弓, 男川小, 教育全般, ESDの視点に立つ教科学習の展開

優秀賞

Table listing 5 other award winners in the joint research section with their respective schools and topics.

佳作

Table listing 3 award winners in the joint research section with their respective schools and topics.

・カ
ツ
ト
甲
山
中
大
竹
紗
弥
加

六三制 (昭和22年)

写真提供：山中小学校

昭和二十二年四月に撮影された学級写真である。児童の前面に、「貫徹」や「真実」「路」と級訓が示されている。背面には、ひととき目立つ文字で「六三制 希望」とある。

この年の二月に、「義務制三か年延長実施計画」が閣議決定された。三月には「学校教育法」が公布され、人格の完成を目指す教育の目的や方針が明確に示された。教育の機会均等や男女平等と、それまでの教育制度から一変し、新たな義務教育制度が定められた。同年四月に六・三・三・四制が発足した。新しい学制に期待する思いが、この学級写真に表れている。

六十八年がたち、今では、教育を受けることは当然の権利であり、学校へ通うことは当たり前となっている。しかし、学ぶことに喜びを感じ、楽しいと思う子供たちを育てるために、これからも私たちは研鑽を積み、努力を続けなければならない。



登下校で、毎日仲良くした友達とも別れ、通い慣れた道とも別れ、卒業生がそれぞれの新しい道を歩き始める。

未知なる世界への希望と不安を胸に、子供たちは学校をあとにする。堂々としたその後ろ姿を見送りながら、これからの長い人生に、幸多かれと切に願う。私たちは、いつまでも見守っていこう。

と ホ

弥 生



細い梅の枝が、指を広げるように、勢いよく伸び、松の枝は堂々と天に向かう。花を生けるのは、物語を作るのと同じだと伊藤さんは言う。「監督が、ヒーローとヒロインや脇役を配置し、表現を工夫することと同じです。」

優しい伊藤さんが、鋭い眼差しで花を生け、小さな物語を作る姿が目に見え、

続いていく岡崎の教育。一年のあゆみを振り返ると、今年度も活躍の多い一年であった。一つ一つの活躍には、子供たちのためまぬ努力とそれを支えた周りの人々の思いが詰まっている。地道な努力を大切に、一步一步進んできたことが成果を生み、岡崎の教育を作ってきた。その一歩を大事に来年度も歩みたい。



*ブツダに学ぶ とらわれない生き方 山田 ほういん
アスコム ￥1,429

心に残った一文

「死をいただいた」と感謝して死ぬるか。

筆者は本の表紙裏に「おかげのおかげのおかげさま」とメッセージを記した。「おかげさま」は、神仏や人から受けた加護や恩恵に感謝するときに発する言葉である。釈迦の教えは、一切皆苦、諸行無常、諸法無我が原点であり、この本のテーマ「とらわれない心や生き方」は、諸法無我に通じる。

とらわれない心(=無我・無欲)になると、釈迦のように、「おかげさまで、死をいただいた」と感謝して死ぬるか。釈迦同様、最高の境地を獲得できる人間になりたい。

- *おかげさまで生きる 矢作 直樹 ￥1,000
幻冬舎社
- *住んでみたヨーロッパ 9勝1敗で日本の勝ち 川口マーン 恵美 ￥880
講談社+α 新書
- *大往生したけりゃ医療とかかわるな 中村 仁一 ￥760
幻冬舎新書
- 矢作東小 岩附 広行